



# くわた 恭子 通信

http://kyoko.moo.jp  
zxkyoko@yahoo.co.jp

[無所属]

発行日 H31年1月20日  
発行者 広島市議会議員  
くわた 恭子  
〒731-5156 佐伯区河内南2-30-2  
TEL 082-929-2930  
FAX 082-929-2928

地域の皆様、お元気で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
今年一年が、災害のない良い年であってほしいと心から思います。  
発行が少し遅くなってしまいましたが通信5/号を発行いたしました。  
昨年12月3日から13日までの12月議会の内容などが中心です。  
12月議会は、職員の給与、期末勤勉手当の改定議案が出される議会  
です。合わせて、市長・副市長、そして我々議員も運動して期末当  
民間というポータスの改定が行われます。  
議員1年生の時から職員給与の値上げについては値上げの根拠が  
明確でないこと知らず反対してきました。  
特に今年度は7月に災害加算復興はまりました。  
ゆえに、市長や議員の値上げ議案は見送るべきだと思っています。



選挙ポスター用の写真です。  
写真は正直、年は隠せませんね

## 市長・議員のボーナス値上げに反対し修正案を提出、否決されました

広島市の職員給与は、民間の給与水準と職員の給与水準を均衡させ決定することとなっています。  
今回の調査対象事業所は市内177事業所を無作為抽出し、内150事業所を調査しています。事業規模50人～3000人以上を調査しますが、44の事業所が3000人以上であり大企業中心の調査です。  
昭和39年以降100人以上の事業所を調査対象としてきましたが、民間の実態とかけ離れているとの国民からの批判があり、平成17年度、国の人事院が調査を行い、平成18年度より50人以上の事業所を調査対象とするよう改められました。しかし、調査する事業所は、事業規模や職種だけではなく事業所名まで人事院が指定します。民間の実態に近づくわけがありません。給与改定による補正額約4億3千万円

### 人事委員会 勧告内容

民間給与	市職員給与	較差
387,359円	386,957円	402円
民間ボーナス	職員ボーナス	較差
4.46月分	4.4月分	0.06月分

### 議案内容

- ① 広島市職員給与を民間に合わせ402円引き上げる。
- ② 広島市職員のボーナスを0.05月分引き上げる。
- ③ ボーナスについては、市長、副市長、特別職職員、議員についても職員に準じて改定を行う。

### 質問内容

市長、副市長他 特別職職員、議員のボーナスの値上げについて、昨年の12月議会、今期、5%の給与削減を行いながらなぜ、一般職に準じ値上げするのか、給与カットの意義は何かとの質問に、給与カットは給与本体であり、ボーナスは対象外。一般職に準じてボーナスの改定を行うのは全国で一般的に行われている答弁し値上げを実行した。  
今年7月に200年に一度の豪雨災害があり、復興は始まったばかり、このような状況にあっても値上げの改定をそのまま受け入れるのかお答えください。

### 答弁要旨

本市を含むほとんどの政令市が同様の改定を実施している。  
7月に発生した豪雨災害については、災害復旧、被災者支援など、補正予算を組むなど必要な経費を措置したうえで着実に実行している。この度の豪雨災害で被害の大きかった県内の各市や県も、一般職に準じ、ボーナスの引き上げの改定を予定しています。

ボーナス	改正前4.40が月	改正後4.45が月	差額
市長	7,124,304円	7,205,262円	80958円
副市長	5,710,320円	5,775,210円	64,890円
議員	4,540,800円	4,592,400円	51,600円

私個人の考え方は、そもそもの人事委員勧告による民間の実態調査が民間の実態と違っていると思うので一般職の値上げにも反対なのですが、職員まで含んだ修正案だと会派の賛同も得られない為、市長や議員に限定している。

左の表は 今回の値上げによる支給額を比較したものです。  
再質問で具体的な金額を聞きまして準備していませんが、700万円以上のボーナスの市長に8万円の値上げが必要なのは、もらえるものは1円でも多い方がよいという考え方は、リターンとしてよくない。次も市長に立候補すると言うのなら「しはかこい」といって見せてもらいたい。他の市町も値上げを予定しているのだから問題ないとの考え方は、勝手な解釈。他の市町は政令市である広島市の動向を見ているのです。災害があった年、値上げ反対の修正案が否決されたのは、とても残念。



# 選挙公費負担 ポスター作成費 議員間で14.5倍の差がある

私たち議員が立候補をする際、公費で認められているものとして、選挙運動用自動車の経費と選挙運動用ポスターがあります。

平成27年春の市議会議員選挙の公費負担額は、約8500万円となっています。

我が会派の議員が、「ポスター作製に係る経費が議員によって大きく異なりその差は、14.5倍にもなることが情報開示で明らかになった。ポスター作製費の公費負担の請求額にそれ以外の経費も含まれていたら返還することで良いか」との質問に、公費負担適正確保の観点から、候補者とポスター作製事業者との間で作成した契約書に基づき、業者に広島市が直接支払う仕組みとしている。この制度の中、水増し請求が起こるとすれば、候補者と業者が結託し、差額を着服するなどのケースが考えられるが、この場合不法行為に基づく損害賠償請求を行うとの答弁

## 各区の限度額

区名	掲示場の数	上限枚数	単価	限度額
中区	168箇所	336枚	2308円	775,488円
東区	163箇所	326枚	2363円	770,338円
南区	232箇所	464枚	1812円	840,768円
西区	271箇所	542枚	1625円	880,750円
安佐南区	297箇所	594枚	1527円	907,038円
安佐北区	449箇所	898枚	1183円	1,062,334円
安芸区	139箇所	278枚	2683円	745,874円
佐伯区	290箇所	580枚	1552円	900,160円

佐伯区の場合、ポスターの設置場所は、290箇所、印刷上限枚数は設置場所の2倍まで580枚、作成費の限度額は、900,160円、1枚単価1552円です。私の場合、この通信を印刷している業者と契約しています。撮影費を含めても作成費は、186,760円、1枚当たり322円です。ポスターの上限額が高額だとは覚悟していたので作成する時、金額を気にしてはおりません。質問後、調べてみると限度額100%の議員が19人、90%台に含めると31人になります。様々な限度額を超えてにポスターを作成することは難しいと思います。私の場合、どのように修正しても1枚1552円にはなりません。

## ローサ節子さんの講演を聞いて

## 「課題は身近にあるのでは…」

2017年、ノーベル平和賞授賞式で、核兵器廃絶国際キャンペーンを代表して演説をしたローサ節子さんが昨年11月に来日し母校の女学院大学での講演を聞いた。13歳の少女が被爆し地獄のような惨状目にし、長くトラウマとなり彼女を苦しめたこと。原爆投下を是とする海外での核廃絶を訴える事の困難さなど話された。更に、日本政府が核兵器禁止条約の署名をしない事に対し、広島市長が政府に批准を迫るべきであると、

なぜ、強く訴えないのか、課題は身近にあると話した。条約批准への広島市の対応については議会でも質問があり「平和市長会議を通し、政府に要請書を提出している」との答弁。この件に関し1/5の中国新聞に「とんがらなくてもいい。どんぐりの背比べでみんなでやる」との市長コメントが掲載されていた。被爆地、広島市長の言葉とは思えないまるで他人事広島市長にしかできないことがあるだろうに・・・

# 議員53人の発言量 上位10人中6人は女性議員

昨年12月24日の中国新聞に広島市議会議員の議会での発言を議事録を拾い起こし文字数で比較した特集記事が掲載されていた。期間は2015年度～17年度の3年間で本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会を対象。議員53人とは、議長を含み、安芸区の補欠選挙選出の議員を除いたもの。

下のグラフは、新聞記事をそのまま縮小したもの選挙に配慮して個人名は伏せ会派名を記載したとある私は中途半端な10位、文字数は15万8882文字。少し言い訳をすると昨年度は監査委員であったため決算の質問ができなかったことが順位に影響している。発言量の多さで、議員をランク付けできるのもでは無い。質問より前置きの持論の長い議員もいるが、客観的な事実。バロメーターには違いない。質問をしないは仕事をしないことと同意である。グラフをしげしげと眺めて気づいたこと、ベスト10に女性議員8人中、6人がランクインしている。女性議員が頑張っていると言いたい。



(会派の承認と得て発行)